

リスクコミュニケーションの分野横断的な考え方と各課題に係る情報発信等施策パッケージ

- これまで「風評対策強化指針」、「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」等に基づき、関係省庁が一丸となって取組
- リスクコミュニケーションの分野横断的な考え方を整理しつつ、各課題の情報発信に関する施策パッケージをとりまとめ
- 強化戦略等に加え、本施策パッケージに基づき、各課題の情報発信を推進

【リスクコミュニケーションの分野横断的な考え方】

- 科学的根拠に基づいた正確で分かりやすい情報発信
 - 個々人の安心感の醸成につなげることを意識した透明性ある情報発信
 - 受け手の目線に立った情報発信
 - リスクコミュニケーションを推進する人材の育成強化
-  必要に応じ、広報の専門家等の有識者からの提案・助言も参考

【放射線に関する科学的知見】

- 放射線の基本的事項
- 国際機関による勧告等
- 福島県の現状



社会的・経済的要因も考慮しつつ、状況に応じたきめ細かい対応が必要

【復興に向けて解決すべき各課題に係る施策】

	除去土壌の復興再生利用等	住民帰還・立入制限緩和	森林整備の再開、木材活用の推進	食品の安全性確保	福島県農林水産物の風評払拭
対象	①広く国民一般 ②海外の関係者	①住民 ②自治体職員	①森林整備事業の受・発注者（自治体、事業者等） ②木材の加工・流通業者	①消費者 ②諸外国	①流通事業者 ②消費者
内容	①復興再生利用・県外最終処分必要性・安全性 ②復興再生利用・県外最終処分のこれまでの経緯、考え方・内容	①放射線に関する科学的知見 ②放射線影響を最小限にする方策 ③廃炉の進捗状況	①森林作業による被ばく線量の健康への影響 ②被ばく線量を抑えて安全に作業を行う手法 ③業務上の線量管理 ④木材の検査結果	①食品の安全を守る仕組みと放射性物質の基準 ②これまで蓄積されたモニタリング結果等	①消費者の福島県産品に対する安全・安心への高い評価 ②福島県産品の魅力
具体的施策	①庁舎等での活用による理解醸成 ②WEB、リーフレット等による情報発信 ③呼称「復興再生土」の使用 ④現地視察の受入れ ⑤イベントの実施 ⑥IAEAによるフォローアップ	①住民ニーズを踏まえたモニタリング結果の提供 ②相談員の配置・育成、自治体の取組支援	①作業従事者向けのガイドライン作成・周知 ②説明会・研修会の開催	①食品中の放射性物質の安全性確保について意見交換 ②外国政府関係者に日本産食品の安全性をPR	①流通事業者の求める情報の発信 ②広域的な産地形成 ③安全性や魅力の情報発信